

## 令和3年度 公共事業再評価調書

担当部/課名	都市整備部 道路建設課
--------	-------------

再評価実施要件	<input type="radio"/> 未着手 (5年) <input checked="" type="radio"/> 長期間継続 (5年) <input type="radio"/> 再評価後 (5年) <input type="radio"/> その他 ( )
---------	--

### I 事業概要

事業種別	道路整備事業	事業方法	<input checked="" type="radio"/> 国補助 <input type="radio"/> 県補助 <input type="radio"/> 市単独																										
事業名	岡田橋橋梁整備事業	事業箇所	青森市大字油川 地内外 ※位置図、計画図等を添付。(別添資料参照)																										
採択年度	平成 28 年度 ( 用地着手 平成 - 年度 / 工事着手 令和 4 年度 )																												
終了予定年度	令和 13 年度																												
事業目的	<p>○岡田橋は、市道森林軌道廃線通り線の富田地区と油川地区を結ぶ新城川に架橋された橋梁である。当該道路は青森市街地から津軽半島へつながる重要な道路のひとつであり、橋梁近傍に自動車整備工場等も立地している交通量が多い路線となっている。油川地区には高等学校もあり、通勤通学時には歩行者・自転車の交通量も多く、歩道が設置されていないことによる歩行者・自転車の安全確保が課題となっている。このため、地域住民から歩行者・自転車の安全確保のための歩道橋設置を求める声が多い。</p> <p>○当該事業は、岡田橋に並行して岡田橋歩道橋を設置し、道路交通の円滑化及び歩行者・自転車の通行の安全確保を図るものである。</p>																												
主な内容	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">当初計画時</th> <th style="width: 15%;">再評価時</th> <th style="width: 10%;">増 減</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 計画延長</td> <td>69.3 m</td> <td>69.3 m</td> <td>0.0 m</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>② 計画幅員</td> <td>3.0 m</td> <td>3.0 m</td> <td>.0 m</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>③ 事業費</td> <td>487百万円</td> <td>487百万円</td> <td>0百万円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業量や総事業費の増減に係る説明等を記入。 ( )</p>					区 分	当初計画時	再評価時	増 減			① 計画延長	69.3 m	69.3 m	0.0 m			② 計画幅員	3.0 m	3.0 m	.0 m			③ 事業費	487百万円	487百万円	0百万円		
区 分	当初計画時	再評価時	増 減																										
① 計画延長	69.3 m	69.3 m	0.0 m																										
② 計画幅員	3.0 m	3.0 m	.0 m																										
③ 事業費	487百万円	487百万円	0百万円																										
事業費	(単位:百万円)																												
		~平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	小計	令和4年度~	合計																					
○事業費		17	6	28	18	68 (a)	419	487 (e)																					
うち①用地費		0	0	0	0	0 (b)	0	0 (f)																					
②工事費		0	0	0	0	0 (c)	419	419 (g)																					
③測試費		17	6	28	18	68 (d)	0	68 (h)																					

### II 評価指標及び項目別評価

#### 1 事業の進捗状況

事業の進捗状況	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th> <th style="width: 60%;">計画全体に対する進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○事業費割合</td> <td>14.0 % [(a)/(e)]</td> </tr> <tr> <td>  うち①用地費</td> <td>0.0 % [(b)/(f)]</td> </tr> <tr> <td>    ②工事費</td> <td>0.0 % [(c)/(g)]</td> </tr> <tr> <td>    ③測試費</td> <td>100.0 % [(d)/(h)]</td> </tr> </tbody> </table>		計画全体に対する進捗	○事業費割合	14.0 % [(a)/(e)]	うち①用地費	0.0 % [(b)/(f)]	②工事費	0.0 % [(c)/(g)]	③測試費	100.0 % [(d)/(h)]
	計画全体に対する進捗										
○事業費割合	14.0 % [(a)/(e)]										
うち①用地費	0.0 % [(b)/(f)]										
②工事費	0.0 % [(c)/(g)]										
③測試費	100.0 % [(d)/(h)]										
説 明	<p>○本事業は、平成28年度に事業着手し、平成28年度より地質調査を行い、進捗率は事業費ベースで約14.0%となっている。</p> <p>○令和3年8月に詳細設計が完了したことから、今後は県と河川協議を実施し、早期の工事着手を目指している。</p>										
問題点 解決見込み	○なし。										
事業効果 発現状況	○工事は来年度以降の予定。										

## 2 社会経済情勢の変化

必要性	○岡田橋は、歩道橋を有していない車道だけの橋梁である。現在は朝夕の交通量の多い時間帯に近隣学校の通学路として、車道を歩行者や自転車が通行している状況にある。
適時性	○地域住民から、早期の歩道橋設置が求められている。
効率性	○歩行者や自転車の安全確保だけでなく、車両の移動時間短縮につながる。

## 3 費用対効果の分析

費用便益比	区分	主な項目		
	費用項目(C) (現在価値)	① 事業費	361	百万円
② 維持管理費		1	百万円	
③			百万円	
④			百万円	
⑤			百万円	
総費用		362	百万円	
便益項目(B) (現在価値)		① 走行時間短縮便益	335	百万円
		② 走行経費減少便益	11	百万円
		③ 交通事故減少便益	0	百万円
		④		百万円
	⑤		百万円	
	総便益	346	百万円	
費用便益比(B/C)	費用便益比(B/C)	0.956		
	修正費用便益比(B/C*α)	1.342		

※地域修正係数(α): 1.404 (青森地方生活圏)  
 ※費用対効果分析の根拠等  
 ・「費用便益分析マニュアル」(平成30年2月、国土交通省道路局)  
 ・「公共事業事後評価制度の導入等に関する提言」(平成22年4月、青森県公共事業評価システム検討委員会)

## 4 コスト縮減や環境配慮などへの検討

コスト縮減等	○斜角の検討により橋長短縮を実現し経費の縮減を図った。 ○基礎杭の杭径、本数の検討を行い経済的な杭径を選定し経費縮減を図った。
--------	--

## III 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	● 継続実施                      ○ 計画変更して実施                      ○ 事業中止                      ○ 事業休止
評価理由等	○地域住民及び通勤通学者の安全確保が不可欠であることから、早期完成を目指し継続して整備を進め、事業効果発現を図る必要がある。